

ベテラン社員の活性化

―“妖精さん”の意識改革―

「会社の妖精さん」という言葉をご存じでしょうか。もちろん本物の妖精ではなく、仕事をせず、いるのかいないのかわからない中高年社員のことだそうです。

この言葉は、2019年に大手新聞で使われたことをきっかけにして、SNSなどで「うちの会社にもいる」と広がっていったようです。ただ、SNSによる情報では、その実態が確かなのか疑問もあります。しかし、70才まで雇用することが努力義務となったことで、ベテラン社員の働きは、企業にとってますます重要な問題となることは間違いありません（緊急提案・117でも問題提起しました）。

多くの企業では、役職定年や再雇用によって給与は下がります。さらに、役職がなくなり仕事内容が変わることで、本人のモチベーション低下は考えられることです（50代シンドロームとも言われる）。かといって、労働力不足が加速する現状で、経験豊富なベテラン社員に活躍していただくことは、企業の必須課題と言えます。

しかし、ある調査によると、50代社員の活性化策を講じている企業は6%にも満たないという結果が出ています。50代社員自身も「若い時ほど、自身のモチベーションを高められない」と自覚をしています。しかし、どうしたらよいかかわからない状態です。

つまり、企業は“法律だから仕方がなく”、社員本人は“働きがいなくても仕方がなく”と、「仕方がない」のマイナス相乗効果となっているのです。給与に見合った仕事をしていただかなければ、雇用を延長した分だけ、利益の損失になってしまいます。

さらに、これを見ている若手社員は「大した仕事もしていないのに、自分達より高い給料もらって・・・」と、モチベーションダウンに繋がりがねません。

若手社員から見たベテラン社員への不満（課題）をまとめた調査結果は以下の通りです。

| | |
|---|-------------------------------|
| 1 | デジタルツールに対応できない（しようとしていない） |
| 2 | 新しい知識、スキルの習得に取り組まない |
| 3 | セクハラ・パワハラなど周囲への配慮に欠ける |
| 4 | 若い世代と円滑にコミュニケーションをとれない |
| 5 | 目標達成に対する意欲が低い |
| 6 | 組織の方針に対し、積極的に取り組めない（愚痴や批判が多い） |

このような不満は、若手社員のやる気を削ぐだけでなく、放置している会社への批判にも繋がりがねません。その解決のためには、ベテラン社員自身に「まだまだこれから！！」（50歳の方であれば、ビジネス人生はまだ20年もある）と、成長意欲を喚起する教育が不可欠です。

弊社の「ベテラン社員のための、人生戦略構築研修」は、モチベーションアップし、さらに業績貢献できるベテラン社員を育成する研修です。

興味・関心のある方は下記からお問い合わせ下さい。



> お問い合わせはこちら